

勇 猛 果 敢

甲魂祭～秋の陣～甲中祭を終えて④



2 学年合唱コンクール、学級発表の 2 番目は 4 組で、指揮者土屋諒祐さん、伴奏者福士奏都さんのもと、「あなたへー旅立ちによせるメッセージ」の発表でした。パートのバランス、曲想の表現の仕方等、リーダーを中心にみんなで意見交換をしながら曲を完成させました。指揮者、伴奏者の作文から、学級合唱に関する部分を紹介します。

・自分は学級合唱の指揮者でした。最初は指揮も下手で、合唱練習ではクラス全体とまとめることができずに悩んでいましたが、先生や友達の声かけがあり、少しずつクラスがまとまっていき、合唱もよくなっていきました。自分は技術的なことがよくわからず、伴奏者の奏都さんやパートリーダー、先生に頼ってしまうことが多くあったけど、練習からみんなで取り組んでいき、本番ではいつもよりいい合唱を響かせることができました。金賞をとることはできませんでしたが、いい合唱にするためにみんなで協力していき、意見がぶつかることもあったけど、4 組の団結力がより一層上がったなと思っています。帰りの会では、4 組全員の前で泣いてしまいましたが、感謝を伝えることができよかったです。
(土屋 諒祐)

・学級の合唱練習では、打ち合わせをしたはずなのに、全く上手く進められなくて落ち込みました。他の作業の進み具合も悪かったから、より不安になりました。でも、指揮者やパートリーダーのおかげで順調に進むようになりました。みんなで話し合うことができ、本当にうれしかったです。みんなが優しく、本当に良かったです。おかげで、安心できました。合唱コンクール当日、本番前の練習では、緊張のせいか、今までの全力を出せていないように感じましたが、最後の最後の練習を大切に、みんなで立て直し、気持ちを 1 つにみんなで仕上げました。本番では、一心不乱で弾きました。4 組の強弱やハモりは、本当に最高に響いていました。金賞をとれなくて悔しい気持ちと、悔いのない明るい気持ちがありました。みんなが本気で合唱を創り上げてくれたことに感謝したいです。
(福士 奏都)